

第27回 地域医療連携カンファレンス開催報告



日頃は当院の業務に格別のご配慮を頂きまして、厚く御礼申し上げます。この度、令和4年2月26日（土）に「第27回地域医療連携カンファレンス」をWEB配信にて開催させていただきましたので、ご報告申し上げます。

和歌山県に新型コロナウイルスに対するまん延防止等重点措置が発令される中での開催となったため、当初の予定会場を変更し、当院からのオンライン配信のみとなりました。急な変更にも関わらず地域医療を担う医師・看護師・薬剤師・介護士・行政関係など多職種の方々からお申込みをいただき、誠にありがとうございました。

今回のカンファレンステーマは「在宅褥瘡と栄養」として、講演会を2部構成にてお送りいたしました。



第一部は、当院の皮膚・排泄ケア認定看護師の 芝 美佐子先生に「在宅での褥瘡予防」として、お話を伺いました。褥瘡の発生要因や褥瘡リスクアセスメントツールの紹介から始まり、日々の介助業務を行う中で、どの行為が褥瘡発生のリスクとなるのか、どのような対応を行えばリスク軽減となるのか、とてもわかりやすく教えて頂くことができました。また、褥瘡に関する医療機器や製品の紹介もあり、今までの知識をアップデートすることができました。

第二部では、当院の栄養管理室 主任栄養士 織原 茉祐花先生より「褥瘡の栄養管理について」と題してご講演いただきました。まず冒頭に褥瘡発生の最大の要因となるのが、寝たきりでも骨突出でもなく低栄養だとお聞きし驚きました。

褥瘡を生じていなくても、高齢者は食が細りがちなため、どのような栄養素を取っていただく必要があるのか、その栄養素を補うためにどのような栄養補助食品があるのかなど、事例を通してわかりやすく教えて頂くことができました。

これからも地域を支える医療従事者の方々にとって、必要と思われるカンファレンスを開催してまいります。今後ともよろしくお願いたします。次回開催は9月か10月を予定しています。

